

平成27年度 俣野小学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

道徳の時間はもとより、各教科等の授業を含む様々な教育活動において、自他を大切に
する心情や態度を育てていきます。

児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題） ☆良さ ★課題

- ☆落ち着いた穏やかに生活し、礼儀を重んじ挨拶がよくできる子が多い。
- ☆縦割り活動を中心に他の学年との交流が多く、お互いの顔や名前を覚えている。
- ☆明るく素直で、子どもらしい。何事にも一生懸命取り組む子が多い。
- ★目標に向かって頑張ろうとする粘り強さや集中力・自主性に欠ける子もいる。
- ★思いやりの気持ちはあるが態度に表せないことがある。
- ★善悪の判断ができるが、自分の考えを伝えることが苦手な子もいる。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

自分や友達を大切にするとともに、善悪を判断し、感謝の気持ちをもつ子を育てる。

重点目標

- ・ 自己を見つめ希望と夢をもって、より高い目標の実現をめざし努力しようとする気持ち
を育てる。（視点1）
- ・ 思いやりや謙虚な心もち、互いに信頼し合って、協力し助け合おうとする態度を育
てる。（視点2）
- ・ 生きることを喜び、自他の生命を尊重しようとする気持ちを育てる。（視点3）
- ・ 公共心や公德心を養い、進んで働き、よりよい社会を築こうとする態度を育てる。
（視点4）

方針

- ・ 各教科の指導目標の達成をみざす中で、道徳教育との関連をふまえ、道徳的心情を豊
かにし、道徳的判断力を養い、道徳性にかかわる実践的態度を養う。
- ・ 縦割り活の充実を図り、自他の生命を尊重し、主体的に他者とかかわっていきこうとす
る態度と思いやりの心や協力する心を養う。
- ・ 家庭や地域と連携し、学級や学校の生活づくりのために自己の責任を果たす態度、多
様な他者と互いのよさを認め合って協力する態度、規律を守る態度などを養う。

指針1 「道徳の時間」の充実

- ・ 学校・家庭及び地域が連携して、それぞれのもつ特性を生かして、豊かな人間性が学べる
場面を作り、子どもの自主的・実践的な態度を育てる。
- ・ 学校・学年だより、保健・給食だより等で家庭及び地域に発信する。
- ・ 全学年道徳の授業を家庭・地域に年1回以上公開する。

指針2 言語・体験活動の充実

- ・ 互いの立場や考えを尊重しながら言葉で伝え合う力を高め、豊かな表現力と思いやりの心
情を培う。教科・領域等授業の中はもとより、学校生活でも指導を心がけていく。
- ・ 縦割り活動、話し合い活動、係り活動、当番活動等の充実により、集団の一員としてよりよ
い学校生活や人間関係を築いて行こうとする自主的・実践的な態度を育てる。
- ・ 家庭や地域の人材を活用し、児童が主体的に問題を解決する資質や能力を育む。ゲスト
ティチャー・教育サポーターが参加する教育活動・図書ボランティア・学援隊による安全・防

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・ 人権週間だけでなく、年間を通して人権尊重の精神を基盤とする教育活動を展開する。
- ・ 各教科等の授業の中に人権的な視点を持ち、知識的・態度的・技能的側面が育つようにす
るとともに、家庭・地域への協力を要請し、子どもたちの自尊感情が育つようにする。
- ・ 授業の中で、社会的スキルを育む展開を重視し、誰もが安心して授業を受けられるようにす